

◆「LRRI ニュース」 令和 6 年（2024 年）5 月号◆

★「役員＆会員だより」令和6年5月号をお届けしました

5月号は、「著しい技術進歩の時代に土木技術者に求められることは何か？～設計基準の背景を理解することとそれを検証できる底力～」と題して賛助会員 PEDI Civil Solutions(株)の Mai Thi Thu Thuy さまにご執筆いただきました。HP にアップしておりますのでご一読ください。なお、次回の 6 月号は、末次忠司顧問に執筆いただきます。

★「第4回技術者講座」を終了しました

例年に倣って今年も（一財）土木研究センターさまと共同主催のもとに、「第4回技術者講座」『インフラ強靭化のための最近の技術』は、5月22日に無事終了いたしました。130名を超えるご参加で活発な議論もできました。有意義な講座でした。ご参加いただきました皆様と運営にご尽力いただきました皆様にお礼申し上げます。プログラムの概要は以下の通りでした。

1. 日 時 令和6年5月15日（水）13:30～16:35 及び
令和6年5月22日（水）13:30～16:50 計2回
 2. 方 法 オンライン（Zoom使用）
 3. 主 催 （一財）土木研究センター（www.pwrc.or.jp）
（一社）地域国土強靭化研究所（<https://lrrri.or.jp>）
 4. 共 催 地盤工学会関東支部
 5. 後 援 土木学会関東支部茨城会
茨城県建設コンサルタント協会

* プログラム

- トピック(1)「堤防の性能評価」：（一財）土木研究センター 常務理事 鳥居 謙一
 - トピック(2)「流域治水の手法と適用性」：（一社）地域国土強靭化研究所 顧問 末次 忠司
 - トピック(3) 「舗装の非破壊調査」：（一財）土木研究センター 道路研究部長 寺田 剛
 - トピック(4)「DX を念頭に置いた地形の特徴や変化を捉えるための技術」：茨城大学 教授 桑原 裕史

なお、来年度も継続予定ですので、ご希望の関心技術がありましたら、事務局（staff@lrri.or.jp）まで、「一報ください」。

★LRRI 技術資料をアップしました

昨今の災害の多発および復興に資するべく、LRRI としてとりまとめた「調査および関連技術報告」を「LRRI 技術資料」として公開、提供させていただいている。HP トップの「関連技術」のページに下記の資料を掲載しておりますのでご一読ください。業務のご参考になれば幸いです。

=====【LRRI 技術資料】=====

- Vol. 2 No.4 「令和 6 年能登半島地震における地盤流動に関する現地調査からの考察
– 地盤流動特性と地盤流動対策の概念 –」 常田賢一
 - Vol. 2 No.3 「締まった基礎地盤上の道路盛土の地震危険度マクロ評価法手引き（案）」
常田賢一
 - Vol. 2 No.2 「気候変動に対する地盤工学的対応策」 安原一哉
 - Vol. 2 No.1 「河川堤防の洪水時破堤特性と性能評価の考察 – 災害事例から学び今後を展望
–」 常田賢一
- =====